



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

歯舞地区マリンビジョン協議会 平成24年度事業計画が決定しました

平成24年5月1日(火)、平成24年度「第1回歯舞地区マリンビジョン協議会」が開催されました。昨年度の事業報告と、今年度の事業計画案について協議、いずれも原案どおり承認されました。会議には、地元の各関係分野、根室市や歯舞漁協職員、釧路開建根室港湾事務所などのオブザーバーらが出席しました。

今年度も各部会が連携調整を図りながら、「行ってみたいと思われる漁村」「地元の若者が残れる漁村」「暮らしたくなる漁村」を目指し、積極的に活動を続けていく方針です。

今年度の新規事業として、歯舞漁港屋根付き岸壁で旬の鮮魚のPR・販売や各種イベントを実施する「歯舞おさかな祭り」や、4月に実施した「お魚料理発表会」があります。

歯舞ブランドの一般家庭食卓への普及や、学校給食メニューへの提案を目指し、さらなるアピールを続けていく方針です。

また、減災計画を策定し、地域の人々が安心して暮らせる環境づくりを目指します。

◆◆ 平成24年度「歯舞地区マリンビジョン」の事業目標 ◆◆

(1) つくり育てる漁業環境の整備と人材育成

①水産教室開催事業	成果目標	地元の子供達の意識啓発(昨年度は荒天のため中止)
	目標値	地曳網の体験学習参加者：70人(平成22年度実績：55人) サンマ燻製・秋鮭フレーク作りの参加者：70人(平成23年度実績：延べ82人)
②長崎県・上五島町漁協との人事交流事業	成果目標	職員の人材育成(技術習得)と地場商品の拡充販売
	目標値	鮮度保持技術と水産加工品製造技術の習得、販売金額の増
③地域リーダー育成事業	成果目標	リーダー育成事業への継続参加・人材育成
	目標値	2人参加(平成23年度までの派遣者数：12人参加)

(2) 漁業からの新たな取り組みによる観光振興

①「遊覧観光船運航」事業	成果目標	遊覧観光船乗船者数の増
	目標値	250人(平成23年11月～24年4月まで：実績150人)
②アサリ獲り体験事業	成果目標	アサリ獲り体験来場者数の増(平成23年度実績：407人)
	目標値	昨年度から一般開放し、500人程度の来場者を目指す。
③歯舞市場食堂による魚食体験推進事業	成果目標	歯舞市場食堂開設
	目標値	歯舞市場食堂開設に向けた試食会の開催とニーズ調査
④「歯舞こんぶ祭り」事業	成果目標	地域単独イベント等の集客増
	目標値	参加者 5,000人(平成23年度実績：4,000人) 売上額 2,500,000円(平成23年度実績2,196,170円)
⑤「最東端の桜」景観づくり事業	成果目標	歯舞漁港背面地への千島桜の植樹(日本一遅く咲く桜並木)
	目標値	200本【平成26年度までの継続事業】
⑥「歯舞おさかな祭り」事業	成果目標	「こんぶ祭り」に続く地域単独イベントの第2弾
	目標値	参加者 3,000人、売上額 1,500,000円

(3) 地域協働等の取り組みによる歯舞ブランドの確立

①安全・安心イメージ向上事業	成果目標	衛生管理体制の強化と啓発
	目標値	歯舞地区におけるゴミ処理量の約20%減
②減災計画の策定事業	成果目標	減災計画を策定し、その「ルールづくり」の整備
	目標値	避難経路の確保と指定避難場所への安全な誘導
③歯舞ブランド販売促進事業	成果目標	歯舞産ブランドの浸透
	目標値	イベント参加によるPR活動を3回以上実施 東急百貨店(海鮮王国フェスティバル)の売上額1,500,000円(6日間) 東京新宿駅西口広場の売上額500,000円(2日間) 東急百貨店(浜の味フェスティバル)の売上額1,500,000円(6日間) 企業内マルシェ(首都圏)の売上額500,000円(2日間)
④浜の母ちゃん事業	成果目標	魚食の普及活動の推進、浜の母ちゃん便り発行8,500枚
	目標値	全国における料理教室の実施回数：5回
⑤お魚料理発表会	成果目標	一流料理人による料理発表会を通して、地域の魚食の普及と活性化に繋げる
	目標値	歯舞産の魚介類を食材に使用する事で、「歯舞ブランド」の普及拡大を目指す



<協議会の様子>



歯舞中学生が修学旅行先の札幌で“はぼまい昆布しょうゆ”をPR!

修学旅行で札幌を訪れた歯舞中学校3年生の生徒たちが、5月10日（木）、札幌駅で昆布しょうゆのミニボトルと手作りのチラシを配布しました。

地元産品や漁業への理解や関心を深め、愛郷心を育むことで、将来の歯舞地域を担う人づくりにつなげようと実施した初めての取り組みです。

修学旅行では、5月8日（火）に千歳市にある昆布しょうゆの製造工場を見学しました。10日の札幌駅では、紺色の法被に身を包んだ生徒たちが「根室から来ました！はぼまい昆布しょうゆです！」と大きな声でPRすると、あっという間に人垣ができ、用意した500セットが5分足らずでなくなる盛況ぶりでした。

生徒たちは、「一瞬でなくなり驚いた。多くの人に“歯舞”を知ってもらえた」と笑顔を見せていました。



＜法被姿で昆布しょうゆをPRする生徒たち＞

6年目となる「日本一遅く咲く桜並木の整備」を実施

5月14日（月）、歯舞地区マリナビジョン協議会は、歯舞漁協事務所の山側に千島桜の成木14本を植樹しました。2007年から継続して実施している「日本一遅く咲く桜並木の整備」の取り組みで、今年で6年目を迎えました。植樹本数は今年分を含めて126本になりました。



＜植樹作業の様子＞

一昨年までは漁協事務所と納沙布岬「望郷の岬公園」の2箇所で植樹していましたが、自然環境が厳しく成長も悪いことなどから岬への植樹は中止となり、昨年からは漁協事務所の1箇所に絞って継続しています。

植樹作業には、同協議会メンバー、市水産港湾課、漁協職員ら約20人が参加し、一本ずつ慎重に植え込みました。

桜の開花は6月中旬頃で、立派に咲き誇る「日本一遅く咲く桜並木」を多くの人に見てもらいたいと願っています。

一流シェフの「お魚料理」 市民ら400人が試食会に参加

歯舞漁協と、22漁業部会で作る歯舞水産物ブランド化推進協議会は4月28日（土）、根室市総合文化会館で「歯舞お魚料理発表会」を開催しました。元札幌全日空ホテル総料理長の所司 益於（しよじ まさお）氏ら5人の一流料理人が、歯舞産魚介類を使ったレシピを披露。来賓、一般市民ら約400人での試食会が開催されました。

メインの素材となった水産物はいずれも歯舞産で、トキサケやコンブ、アサリなど比較的知られた魚介類のみならず、カジカ、ソイ、サメガレイ、アブラガレイ、ゲンゲなど消費者になじみの薄い未利用水産物も高級レストラン顔負けのメニューで提供されました。

今回、歯舞水産物の普及拡大のために腕を振るった所司氏は、「一本立ち歯舞さんま」をはじめとする歯舞水産物ブランド化推進協議会の取り組みを高く評価する、自称“応援団”。「われわれ料理人が生産者と直接つながり、魚介類の消費拡大、都市圏消費者への認知度向上に大きく貢献できる」と話していました。



＜一流シェフの料理の試食が大人気＞



＜参加者に料理を説明して回る所司氏＞

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリナビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

